

各地で女性集会が開催されました。

九州地方協女性集会



九州地方協は、5月29～30日「見直そう、私のベストセラー（勤務表）」をテーマに女性集会を開催し73人が参加しました。

記念講演では、九州社会医学研究所の田村所長より「職場の健康を科学する」と題した講演で18年前に国立病院に二交替制勤務が導入された際、田村先生と九地協が共同で行った調査結果を振り返りながら、看護師の労働環境改善が必要であると科学的根拠を示しながらのわかりやすい話でした。また、九地協で取り組んだ二交替制アンケートの結果を現在、女性部でまとめているところ。今後の運動に活かしていこうと提案されました。

リフレッシュ分科会は「好かれる・若返る・落ちないメイク講座」と、「足裏バランス講座」を行い盛りだくさんの2日間となりました。



「ここがポイント」
メイクの実演に見入る参加者のみなさん

近畿女性・看護職集会

6月6日「近畿女性・看護職交流集会」を開催し、24名が参加しました。本部の佐藤書記長による「情勢と要求闘争・団交強化、ストライキ体制確立、組織拡大・強化」で一時間の講演の後に討論。

討論では、団体交渉についての議論が集中し、「団体交渉で改善した」などの経験交流や職場実態の発言に「ひどい状況をそのままにはいけない。団体交渉をしよう」と参加者が当該支部に檄を飛ばす場面もあり、終了時間を一時間以上超過しました。



関信看護職場交流集会



関信地方協では、6月7～8日、看護職場交流集会を開催し40名が参加しました。

記念講演として「労基法全面適用！職場の法違反を許さない」と題して日本医労連の温井書記次長を講師に招いて学習しました。温井氏は講演の最後に「全医労の皆さんはようやく憲法で保障された労働者になることができた」と話され、参加者は大いに励まされました。

特別報告①は、晴嵐荘支部の団体交渉の報告。「現執行体制で初めての団交で、できるか不安だったが、地方協の支援を受け団交実施ができ自信になった。もっと事前の打ち合わせが必要だった」と今後の支部活動につながる報告でした。

特別報告②は東長野支部から「私たちがめざす組合活動」と題しての報告。「過半数支部になったが、その後拡大が進んでいない。執行委員会の定例化や団交の成果を皆に知らせるなど、地道な組合活動が大切。」と、報告をしました。

リラックス企画として「音だまくらぶ」の演奏会。国立病院の児童指導員で音楽療法士の西巻さんのサクソの演奏に癒されました。

全体討論では「医療事故」「パワハラ」「二交替制」「介助職の働き方」などの問題別に問題を共有し、それぞれが何をすべきか、支部活動の方向性を見出すことを重視した討論になりました。



東北地方協看護問題対策集会

東北地方協は、看護現場の男性職員にも参加してほしいと、今年から集会名を変えて企画。6月9～10日「看護問題対策集会」を開催しました。参加者は21名で、うち男性看護師は7人参加しました。

全体討論で夜勤や勤務線表、休憩時間や超過勤務について支部から実態報告を出し合い、分散会への問題提起としました。

分散会では全体討論での問題提起を受けての討論をしました。まだまだ男性看護師が少ない支部もあり、男性用の仮眠室がない支部では「組合で要求しよう」と助言を受けていました。また、7:1看護になったが夜勤体制は以前のままという支部は、討論の中で夜勤体制の増員を要求することを決意していました。



院内保育所'16年度委託契約に向け

保護者・保育所職員が一丸となつてとりくむ決意

全医労は、6月13～14日保育所会議を開催しました。2016年度5回目の契約更新を迎える。これまでの契約更新も厳しかったが、今回はこれまで以上に厳しい契約更新になるという情勢を共有し、安全・安心の保育環境、保育士の賃金労働条件の改善ができる公正な委託契約になるよう保育所職員・保護者・組合が一丸となつて運動をすすめる意思統一をしました。

- ★公正な委託契約を求める要求署名をすべての職員・保育所職員を対象に9月末までとりくむこと。
- ★すべての保護者・保護者OB・保育所職員を対象に「ひとこと署名」に9月末までとりくむこと。
- ★施設長（第二共済所所属所長）宛の要求書は全国立病院機構支部が9月末までに提出すること。

・・・・・・・・詳しくは指示30号参照

以上三点と保護者・保育所職員の組合員の拡大を全力でとりくみましょう。



戦争法案にレッドカード



6月20日、安倍政権が今国会で成立をねらう「戦争法案」に対して反対する集会やパレードが全国各地で開催されました。東京でも“怒りの赤”のファッションアイテムを身に着けた女性が国会議事堂を取り囲む集会が開催され1万5千人が手をつなぎ「戦争法案今すぐ廃案」など声を合わせて反対の声を挙げました。

全医労も医労連の旗の下に結集し、アピールしました。医労連三浦書記長は、「医療労働者は二度と白衣を戦場の地で汚さない」と力強く連帯のあいさつをしました。



20日国会前で